

# ModuleX Controls

## DIMMER 500VA

AC100V 50/60Hz

逆位相制御方式

## SX-CD500RPC

### 製品仕様

<input type="checkbox"/> 品番	SX-CD500RPC	<input type="checkbox"/> 適合負荷容量	6~500VA
<input type="checkbox"/> 定格電圧	AC100V	<input type="checkbox"/> 調光範囲	約0~100%
<input type="checkbox"/> 定格周波数	50Hz/60Hz共用	<input type="checkbox"/> 使用温度範囲	0~35°C

### 適合機器

### ModuleX 全機種適合品

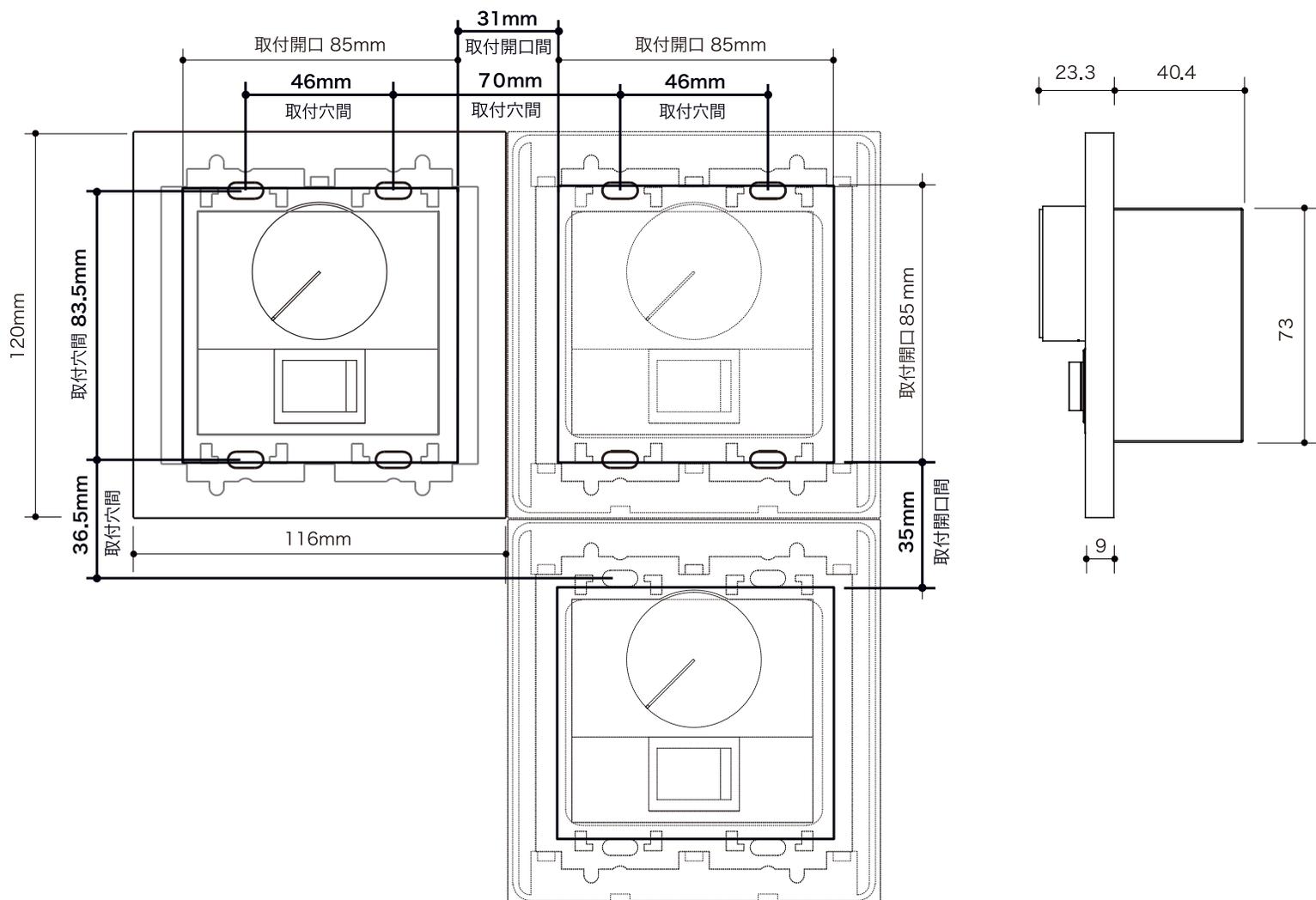
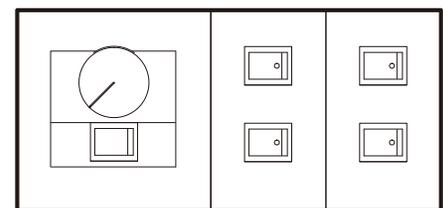
すべてのModuleX商品、及びModuleX製トランスフォーマーとLEDドライバーに適合します。  
詳しくは、製品仕様書をご参照ください。

### ModuleX

TOKYO TEL : 03-5768-3681 東京都渋谷区恵比寿南1-20-6第21 荒井ビルB1F  
OSAKA TEL : 06-6121-7888 大阪市中央区久太郎町3-3-9 ORIX久太郎町ビル1F  
FUKUOKA TEL : 092-732-4211 福岡市中央区大名1-8-30-1

## ModuleX Controls

Controls シリーズは、組合せで接続設置することで、「1パネル」のようにご使用いただけます。  
下記の取付寸法をよくご確認のうえ施工してください。



連続して設置する場合、特に太線寸法にご注意ください

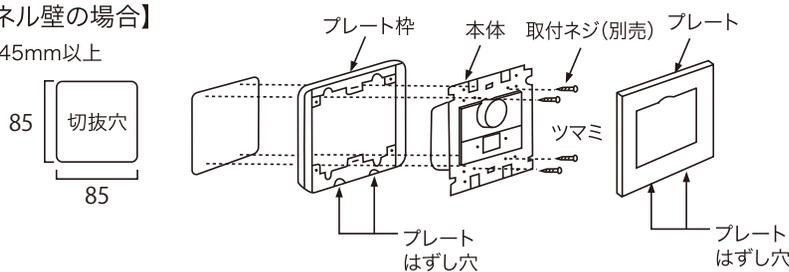
### 取付方法

1. 電線をプレート枠に通してから結線してください。
2. プレート枠のはずし穴を下にして本体にはめてから、本体をパネル壁、またはスイッチボックスにネジで固定してください。
3. プレートははずし穴を下にしてプレート枠にはめて取り付けてください。

※器具の詳細寸法は裏面をご参照ください。

#### 【パネル壁の場合】

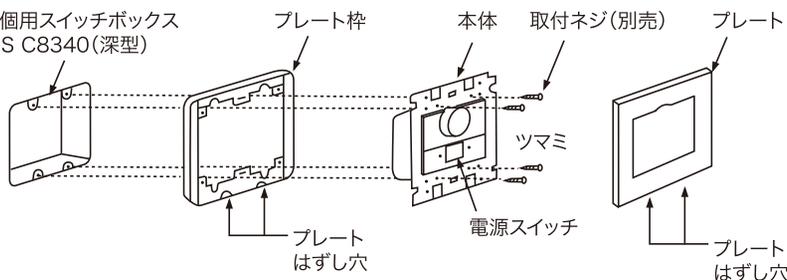
深さ45mm以上



- ⚠ 上下に接続設置する場合は必ず取付面に補強材と取付金具用の取付材を入れて施工してください。  
 接続接地する場合、最大容量の80%程度でご使用ください。(推奨400VA)  
 はさみ金具などをご使用の場合は、はさみ金具に合わせて開口してください。

#### 【スイッチボックスの場合】

2個用スイッチボックス  
JIS C8340(深型)



- ⚠ スイッチボックスで施工する場合、寸法上、接続設置はできません。

#### 【取付け条件】

- 調光器を使用する環境に応じて下記表の様に最大負荷容量が変わりますのでご注意ください。

使用環境(条件)	係数
金属製スイッチボックスで単体設置の場合	×1.0
樹脂製スイッチボックスで単体設置の場合	×0.8
断熱性壁材に設置する場合	×0.5

※ 連続設置する場合、最大容量の80%程度でご使用ください。(推奨400VA)

- 接続設置時にお互いの配線が極端に接しますと、干渉によりチラつく場合があります。
- 上記使用環境での最大負荷容量を超えて使用するとチラつく場合があります。

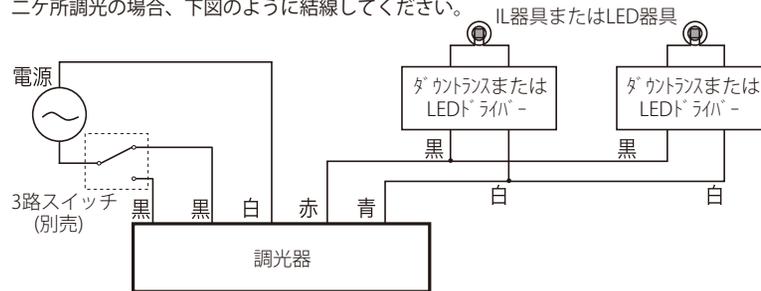
### 注意事項

- 器具は説明書に従って正しく取り付けてください。  
電気工事は必ず電気店や工事店等の有資格者が行ってください。
- 表示されている定格を守ってください。定格負荷以上になりますと調光器が壊れます。
- 不点灯のランプは速やかに交換してください。  
またランプが外れている場合も、正常な調光ができなくなります。
- ランプ交換の際は必ず電源を切ってください。
- この調光器は半導体を使っており、周囲温度の高い場所では調光器が壊れますので、使用温度範囲(0~35℃)は必ず守ってください。湿気が多い場所や、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
- ご使用中に調光器のプレートが温かくなりますが、動作上必然のもので心配はありません。
- 調光器は使用中にうなり音が発生することがありますが、異常を示すものではありません。
- この調光器は雑音防止回路を備えてありますが、ラジオ・ステレオ等の音響装置に雑音障害が生じることがありますので、次の予防対策を行ってください。
  - ラジオ・ステレオ等の装置のアースを確実に取付けてください。
  - ラジオ・ステレオ等の装置にアンテナを張ってください。
  - 調光器とラジオ・ステレオ装置等のアンテナ・アース線とは1m以上離してください。
- ちらつきが発生する場合がありますので調光器の電源は他のものとは別電源にしてください。(他社調光器含む)
- お手入れについての注意事項
  - 汚れた時は柔らかい布で拭いてください。
  - 汚れがひどい時は布に水を含ませ硬く絞ってから拭き取ってください。
  - ベンジン、シンナー、アルコール、油類、化粧品、洗剤等は表面仕上げを傷めますので使用しないでください。

### 結線方法

- 結線の際は必ず電源を切ってから行なってください。
- 配線はφ1.6またはφ2.0の銅単線をご使用ください。
- 結線後に安全ブレーカ等のトリップテストをする場合、負荷側の短絡はしないでください。

二ヶ所調光の場合、下図のように結線してください。



- 一ヶ所の場合、黒線どちらか一本だけを結線してください。  
余った黒線は必ず端末絶縁処理を施してください。

### ご使用方法

- 電源ON/OFFはスイッチで行なってください。
- ツマミを右に回すと明るくなり、左に回すと暗くなります。
- ツマミを左に回して光がほとんど見えない時でも電流は少し流れていますので長時間ご使用にならない場合はスイッチを切ってください。
- 12Vダウントランス(調光可能型)照明器具を約0~100%調光できます。
- リモコン照明器具及びプルレススイッチ付照明器具にはご使用できません。